

ひらけ！世界のとびら！

所属	静岡県立富士特別支援学校	実践者	足立 友香	
対象	知的障害課程 中学部3年(30名)	時間数	22時間	
場所	教室	実践教科	総合的な学習の時間 生活単元学習	
ねらい	<p>テーマ【共生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の国に興味関心を持つ。 ・国の文化の違いに気が付き、互いの良さを見つけることができる。 ・他国の言語や文化について調べたことを、自分なりの表現で他者に伝えることができる。 ・学年の仲間と協力して活動に取り組んだり、互いの良さに気が付いたりすることができる。 			
実践内容	回	プログラム	備考	
	1-2	<p>【ひらけ！世界のとびら】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知っている外国の名前を書き出してみよう<ブレインストーミング> ・ワールドクイズに挑戦！（国旗、食べ物）<クラス対抗クイズ> 	A3用紙、マジック 世界地図、地球儀 パワーポイント	
	3-5	<p>【エチオピアについて知ろう ～足立先生が行ってきました！～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真や動画を見てみよう！<フォトランゲージ> (風景、言葉、文字、人、食べ物、町の様子、動物等) ・見て・触って・感じよう(エチオピアコーヒーセット、紙幣)<実体験> ・エチオピアクイズ！（日本のトイレとの違いは？）<対比> ・エチオピアコーヒーの話を読み聞かせ ・友達とアムハラ語で挨拶をしてみよう<実体験> ・衣装を選んで着てみよう<実体験> ・エチオピアダンス(足のステップ)をしてみよう<実体験> <p>【アフリカンミュージックを楽しもう】(学校行事:スクールコンサート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンガやタンザニア出身の演者によるジャンベの生演奏を味わう <p>【インジェラを味わおう】(学校給食:アフリカの料理)</p>	エチオピアで撮影した画像や購入した物(コーヒーカップ、ポット、エチオピアブル、衣装等)	
	6-7	<p>【自分のお気に入りの国について調べよう】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本(修学旅行先)について(着物、音楽、方言等) ・エチオピアについて(アムハラ語、ダンス等) ・イギリスやアメリカ(ALTの出身国)について(歌、英語等) 	A3用紙 各国の特徴的な名物や名産の写真	
	8-21	<p>【ワールドリサーチイッテQ！～発表会で保護者に伝えよう！～】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各国の衣装や文化、音楽を知ろう<対比表><実体験> ・3カ国の国旗カラーを使用したミサンガやコースターを作ろう ⇒保護者参加型の発表会、生徒作品をプレゼント 	アムハラ語の表 衣装、国旗	
	22-23	<p>【いいとこリサーチイッテQ！】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表会のビデオを見て振り返りをしよう ・自分の頑張ったこと、友達の良かったことを発表しよう 		
	成果	<p>・エチオピアの自然、音楽、言語、衣装など現地でも得た情報や実物を活用したことで、とても興味をもって、五感で感じながら学ぶことができた。エチオピアという未知の国を肯定的に受け入れ、親しみをもつことができた生徒が多い。情報や体験を受けるだけでなく、学んだことやもっと調べてみたいと思ったことを発表会に向けて生徒自身がまとめ、表現できたことがとても良かったと思う。</p>		
	課題	<p>・日本で暮らす中でも身の回りに外国の物が多くあることに気がつき、世界の恩恵を受けていることに感謝の気持ちをもつことや日本と世界が繋がっていることに気がつくことができるような内容に今後取り組んでみたい。</p>		
備考				

[授業実践の詳細]

1-22 時限目「ひらけ！世界のとびら」

この時限のねらい

- ・外国の文化に興味をもつことができる。
- ・クラスの友達と話し合ったり声を掛け合ったりしながら活動に取り組むことができる。

1 児童生徒の活動の流れ

- ① 外国の名前 いくつ知っているかな？クラスで挙げてみよう
【ブレインストーミング】
- ② ワールドクイズに挑戦！（国名⇄国旗）（国名⇄料理）



<どこの国の国旗だろう？>

2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ 1クラス 10カ国ほど、国名を挙げる事ができた。
- ◇ 日本でもよく知られている料理と珍しい料理を織り交ぜて問題にしたことで、「分かる！知ってる！」というものから「初めて見た！なんだろう？」と友達や教師と会話を交わしながら考える事ができた。
- ◇ クラス対抗形式にすることでクラスの仲間と協力して考える事ができた。また、正答の時は、友達とハイタッチして喜び合う姿も見られた。

3 使用した教材

<教材1> パワーポイント



<地球儀でさがしてみよう！>

3-5 時限目「エチオピアについて知ろう ～足立先生が行って来ました！～」

この時限のねらい

- ・エチオピアの文化に興味をもち、映像を見たり話を聞いたりすることができる。
- ・楽しみながら文化体験（民族衣装の扮装体験、ダンス）をすることができる。

1 児童生徒の活動の流れ

- ① 写真を見て、気がついたこと、興味をもったことを発表しよう【フォトランゲージ】
- ② エチオピアブル（紙幣）を見てみよう、エチオピアコーヒーの匂いはどう？
- ③ エチオピアと日本の違い ～トイレの使い方編～
どうしてトイレットペーパーを流さないのだろう？トイレットペーパーの比較実験をしてみよう！【対比】
- ④ エチオピアのコーヒーはとて有名！「コーヒーの始まり物語」読み聞かせ
- ⑤ アムハラ語で挨拶をしてみよう
- ⑥ 民族衣装を着てみよう お気に入りを選んで写真を撮ろう！ アフリカンファッションショーをしよう
- ⑦ エチオピアのダンスをやってみよう！

2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ インジェラを写真で見ると「おいしそう！食べてみたい！クレープみたい」と様々な感想が聞かれた。
- ◇ 紙幣(エチオピアブル)を見て、「日本のお金と違う！」「かっこいい」と感想をもつ生徒がいた。
- ◇ チャモ湖のワニの映像を見たときは、テレビに釘付けになっている生徒が多かった。本物のワニがとても近くで写っていることに驚きながらも、「動いた～！！大きい！」などと興奮している様子だった。
- ◇ エチオピアのアムハラ族の言語であるアムハラ語で「サラーム！」(やあ！)という挨拶を行なった。挨拶の時に、自分と相手の肩を合わせる所作を伝えたところ、友達と一緒にやってみようとする生徒がいた。
- ◇ 学年の先生方に協力していただき、エチオピア、ガーナ、カメルーンの民族衣装を着て登場してもらった。生徒たちは、興味津々で注目することができた。また、その衣装に惹かれ自分も着てみたいと意欲的に衣装を選択して試着することができた。
- ◇ トイレの使い方の違い(紙を流さない)を伝えたところ自分たち(日本)との違いに驚いている生徒や「どうして？」と疑問を抱く生徒がいた。実際に、トイレットペーパーと水を入れたペットボトルをふって対比実験をすると、「日本のトイレットペーパーは溶けた！」「エチオピアのトイレットペーパーは溶けない！！」と気がつくことができた。「水に溶けないペーパーをトイレに流したらどうなる？」と投げかけると、「詰まって溢れちゃう、トイレが壊れる」と反応があった。「なるほど！だからゴミ箱に捨てなきゃいけないのか」と、とても納得した様子だった。
- ◇ テレビに本の挿絵を映しながら行った「コーヒーの始まり物語」の読み聞かせは、興味深く聞くことができた。現地で購入したコーヒーやコーヒーセレモニーのセットもとてもよく見ていた。
- ◇ エチオピアダンスは現地の JICA 職員が教えてくれたものである。その映像を見せながら、挑戦すると、「難しい～」という感想が多かった。その中でも、1人の女子生徒は休み時間になると私の元へ来て、「ダンスをやりたいです。」と言って練習をした。繰り返し行うことで、リズムカルに足のステップを踏むことができるようになった。その女子生徒は、後の発表会で保護者の前でエチオピアダンスを披露することができた。



<ワニだ！大きい～！>



<アムハラ語で挨拶「サラーム！」>



<トイレットペーパーのちがいがいい！>



<エチオピアのダンス>



<エチオピア・カメルーン・ガーナの民族衣装を着てみよう>

3 使用した教材

- <教材2> 『原木のある森 コーヒーのはじまり物語』 アフリカ理解プロジェクト著
- <教材3> エチオピア海外研修で購入した民族衣装
- <教材4> 知人から借りたガーナ、カメルーン衣装
- <教材5> エチオピア海外研修で購入したコーヒーセレモニーのセット
- <教材6> エチオピア海外研修の滞在先ホテルで入手したトイレットペーパー



「アフリカンミュージックを楽しもう」(学校行事:スクールコンサート)



＜生徒の感想＞

- ・ダンスがとても楽しかったので、またやりたいです。
- ・オールスターズのみなさんの演奏する太鼓がとてもかっこよかったです。

「アフリカ料理を味わおう」(学校給食)



★アフリカのようり★		
インジェラ(エチオピア)	713	
ドロワット(エチオピア)	26.2	
カチュンバリ(タンザニア)		20.1
じゃがいものコンソメスープ		
コーヒールメーク		
ねつりょう		
たんぱくつ		
しじ		



＜生徒の感想＞

- ・(見本で掲示したインジェラの匂いをかいで) いい匂いがしました。
- ・ドロワットがカレーみたいな味がしておいしかったです。
- ・インジェラの生地がもちもちしていて食パンよりおいしかったです。

6-7 時限目 「自分のお気に入りの国について調べよう」

この時限のねらい

- ・自分の興味のあること、もっと知りたいことを考え、調べることができる。

1 児童生徒の活動の流れ

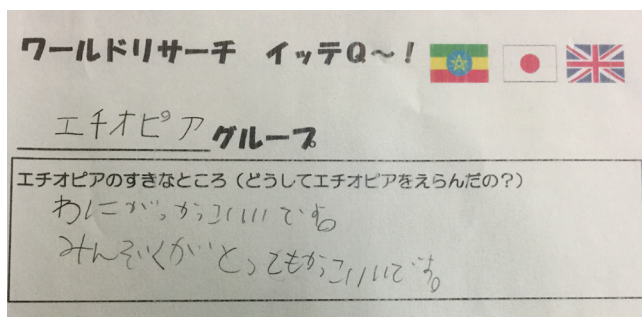
- ① これまでの学習を振り返ろう 勉強してきたことは？【ブレインストーミング】
- ② 日本・エチオピア・イギリスアメリカの中でもっと調べたい国を選択しよう



＜どの国の名物、名所だろう？＞

2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ 学習を振り返り、修学旅行(京都・奈良)を通して学んだことは日本の文化、総合的な学習「ひらけ！世界のとびら」で学んだことがアフリカ、エチオピアの文化、ALTにはイギリスやアメリカの文化を学んできたことを思い出すことができた。
- ◇ 写真を見て、「これは日本の着物だ！」「給食で出たエチオピアの料理だよね？」等と友達と話しながら、各国の写真を振り分けることができた。
- ◇ 3カ国の中からエチオピアを選択しもっと知りたいと思った理由を尋ねると、「ワニがかっこいい。民族がかっこいい。エチオピアの言葉をもっと覚えたい、ダンスをやりたい。」という答えだった。



＜エチオピアのどんなところに興味をもったのかな？＞

3 使用した教材

＜教材7＞ 各国の名所、食べ物、衣類等の写真

8-21 時限目「ワールドリサーチ イッテQ 発表会をひらこう！」

この時限のねらい

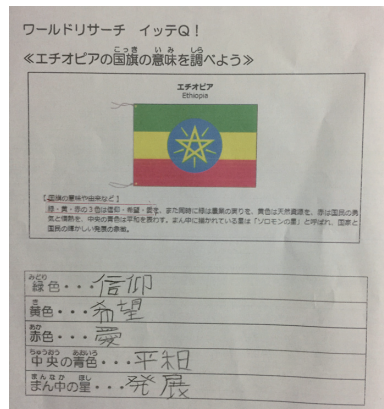
- ・世界について興味関心を持ち、日本や世界の国々について進んで調べることができる
- ・友達や保護者に向けて、自分が調べたことを相手に分かるように表現することができる。

1 児童生徒の活動の流れ

- ① グループごとに発表会の構想を考える、役割決め、役割練習
- ② プレゼントグループの生徒は、国旗カラーをモチーフにした作品を制作し、保護者にプレゼントすることを目的に活動に取り組む。ミサンガとアイロンビーズを制作する。

2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ 何を発表したいかと尋ねると、アムハラ語を話したい、ダンスを発表したい、トイレットペーパーの実験を見せたい等と学習してきたことを思い出して発表することができた。
- ◇ エチオピアの国旗を作成する中で、国旗色の意味にも触れることができた。希望、愛、平和等の意味が込められていることを覚えて、発表会で伝えることができた。
- ◇ アフリカ大陸の中から、エチオピアの位置を覚え、世界地図を指して発表することができた。
- ◇ アムハラ語で自分の名札を作る活動を行なった。アムハラ文字に「難しい」「絶対に読めない」と苦戦しながらも、形を捉えて書くことや「英語の m みたいだなあ」と様々な感想をもちながら取り組んでいた。
- ◇ アムハラ語のやりとりを友達と行い、会話形式で寸劇を交えて発表することができた。セリフをただ言うのではなく、声に強弱をつけたり身振りをつけて発表したりと表現力を高めることができた。
- ◇ 発表会当日は、アムハラ語を保護者にも話してもらおう機会を設けた。勉強したことを親に伝え、一緒に取り組めたことに喜びを感じている生徒の様子が見られた。



<国旗色の意味を調べました>



<エチオピアの国旗を作りました>



<アムハラ語を書いてみよう&話してみよう>

アムハラ語を言ってみよう!	
どうも~!	サラーム
わたしは[名前]です。	たはるバラン
あなたは元気ですか?	デナネ? 又は アンタ デナネ?
元気だよ!	デク
美しい うまい 良いね	アンチ コンジョ
ありがとう!	アムサグネロ
どれじゃあ、またね!	イッシーチアオ

「ワールドリサーチ イッテQ 発表会の様子」



<日本グループの発表: 琴の発表>



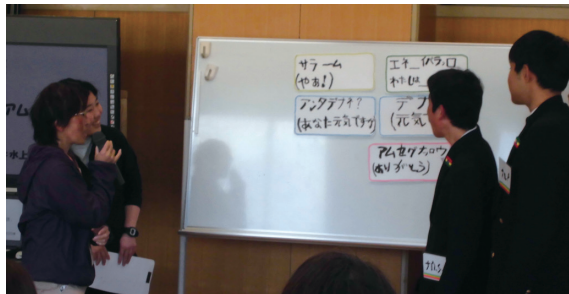
<イギリスグループの発表: 兵隊の行進、敬礼>



<エチオピアグループ: トイレの使い方を説明>



<エチオピアグループの発表: 国旗色の意味について>



<お母さんとアムハラ語で会話をしました>



<国旗のアイロンビーズをプレゼント>

3 使用した教材

<教材8> JICA 職員のサラさんにもらったアムハラ語の表

<教材9> ウェブサイト名 Ethiopia Bet

<http://www.geocities.co.jp/ethiopiabet/amharic/amari/index.html>

22-23 時限目「いいとこリサーチ イッテQ ～発表会の振り返り～！」

この時限のねらい

- ・自分や友達の発表を振り返り、自分や友達の良さを見つけ伝えることができる。
- ・自分の表現について課題を見つけ、今後の学習に向けて目標をもつことができる。

1 児童生徒の活動の流れ

- ① 発表会のビデオを見て、振り返りをする。
- ② 自分の頑張ったところ、友達の良かったところを伝え合い、認め合う。
- ③ 発表会の成功、保護者の賞賛を受けて、全員で達成感を感じる。

2 児童生徒の活動の成果・反応

- ◇ 自分の役割を成し遂げたことで、達成感を感じている生徒が多かった。また、友達の良かった点についても、具体的に「〇〇さんの声をはっきり聞こえて、分かりやすかった。」「衣装がとても素敵だった」等、相手に伝えることができた。
- ◇ 保護者からは「楽しい発表会で世界の国のことを学ぶことができた。」「友達と協力して発表している様子や楽しそうに演じている様子、自分の役割が分かって取り組んでいる様子が良かった。」という感想を聞くことができた。生徒たちは、親に褒められることで、とても嬉しそうだった。

3 使用した教材

＜教材10＞ 発表会を撮影した映像

■ 全体を通して

1 授業の様子

エチオピア海外研修で得た映像資料や現地で購入した物は、全てが教材となり、生徒たちに提示することができた。本物に触れることは、生徒たちの興味関心をひき、「おもしろい！」「もっと知りたい！」という意欲を引き出すことができた。特別支援学校の生徒にとっても、世界を知ること、世界に興味をもつことは大変意義があり、やりがいを大いに感じる事ができた。自分自身の実践の第一歩になったので、今後も国際理解教育について学びを深めて、実践をしていきたい。



- ・チームティーチングで授業を行うにあたって、学年内の教員にもエチオピアの素敵なお店を知っていただきたく、研修の学びを共有させていただいた。
- ・コーヒーの産地を気にするようになったと話してくれる同僚や、エチオピアがテレビで取り上げられていたと声をかけてくださる同僚がいた。授業を考える中で、共に学びあうことができた。

＜帰国後、夏季休業中に学年部の教員に報告＞～エチオピアコーヒーとコロをお供に～



＜中学部職員に教師海外研修の報告＞



＜報告時のパワーポイント資料の一部＞

2 参考文献・資料

- 1) JICA 中部 開発教育指導者研修資料
- 2) 教師海外研修の写真